其結果松崎君抔ハ以前記ニ名ハ伊那電鉄
ニ最モ主謀者トナリ階級戦線ニ依リ同盟信州労
働組合ニ加入方ヲ勧誘シタ。右三名ノ組合設
置ノ狂奔ハ会社ノ忍ビ得ザル所トナリ、狼狽ノ結
果ハ会社ハ遂ニ大正十四年十月二十三日付社
ノ都合ニ依リ保線課長九嶋息松、伊那大島
駅長、牧村覚衛、北殿駅助役春日源正ノ
三名ニ対シ解職ノ処分ヲナシタ。
（二十二日発信、二十三日落手。解雇通知）。
二十四日鈴木、矢島、理事勝外被解職者三名ト
同伴、赤穂支社ヲ訪問シテ、―― 会社側生垣
賢造、池上文雄、山田謙吉、三氏ト会見

財團法人協調會

一、解職理由ヲ質問シ　辞令ノ撤回ヲ要求シ
タガ会社側ノ都合ニ由ルトノミシテ何等ヲ語ラズ
要領ノ要ヲ得ズ（此ノ際新聞記者十名立会ツタ）。
二、二十四日赤穂警察ハ警察署長（田中）及新聞記者十名
参加ノ下ニ二十三日ト同要求、不当解雇ヲナシタリ生垣
理事ニ辞令ヲ預カレト返還シタガ拒絶サレ、辞令ヲ
机ノ上ニ置イテ行ケト申出シタノデ御言葉ト其ノ言ニ
置イテ分カツタ。
状況緊張ノ気分ニ包マレ、騒擾ヲ醸生セントシタ。
三、此ニ同月十日紀、小松伊那署長ノ斡旋ニ依リ

財團協調會